

ガバナー 月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER
2023-2024 Rotary International District 2630



5

2024/MAY.

vol.11



第2630地区のHPはスマートフォンでもご覧いただけます。



第2630地区のFacebookはこちらから。
(登録が必要です)

Contents

- 2023-2024年度 第2630地区ガバナーメッセージ
- 第2630地区 青少年奉仕委員会 委員長メッセージ
- ガバナー補佐 一年を振り返って
- 地区委員長 一年を振り返って
- 活動事業報告
- 第2630地区 会員数報告
- 第2630地区 会員動静報告

青少年奉仕月間



未来のために

青少年奉仕月間

2023-2024年度
国際ロータリー第2630地区ガバナー

篠原 一行 (多治見リバーサイドRC)

今月は、ロータリーにとって、とても大切な「青少年奉仕を考え行動に移していく」月間です。当地区には青少年奉仕関係で、青少年奉仕委員会、インターアクト委員会、青少年交換委員会、ロータリーアクト委員会があります。

青少年奉仕における委員会活動の歴史をみますと、1962年にロータリークラブの提唱によりインターアクトクラブが設立、その後1968年にロータリーアクトクラブが設立されました。1971年にはRI理事会で正式に、ロータリー青少年プログラムとしてRYLAを採択され、1972年に他国のロータリアンのホームステイによる青少年交換プログラムが始まり、これらはRIの常設プログラムになっています。

まず、当地区の青少年奉仕委員会が推奨実施している「出前講座」があります。この活動の経緯は2003年より将来を担う若者たちに勤労観、職業観を育み、自立できる能力を身に付けることを目的とした「キャリア教育」の考え方が広まり、それに合わせ、鈴鹿市内の4つのロータリークラブが地元の中学校で実施し、その後は、積極的に開催されるようになりました。そして、高山市内でも同様に開催されるようになり、ほかの地域へもその輪が広がっていきました。「出前講座」は、ロータリーが地域と積極的にかかわる職業奉仕活動の大切な事業の一環です。

次に、当地区のインターアクトは、1963年から創設され、現在37校でIAC活動が行われ、提唱・支援を34クラブが実施しています。IACは、次世代を担う青少年の育成と青少年奉仕・国際交流を広げるために、クラブがIACの理念を提唱し支援・交流する活動です。恒例でした韓国第3600地区とのホームステイを目的とした相互訪問は、コロナで中断していましたが、本年度より再開されました。

ロータリーのキーワードとして、「青少年の未来のために実施する奉仕活動がいかに大切か」、であ

ります。現在実施されている青少年プログラムは、全てにおいて国際ロータリーのプログラムです。そして、青少年奉仕とは、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへ参加し、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものであります。

この活動が、青少年の間で高い倫理基準および倫理的な意思決定を奨励することになります。そして、青少年のニーズや願望や関心を理解し認識することが出来ます。よって、我々が、地元の地域社会でプログラムを実施することで、青少年に機会を提供していきたいですし、国際ロータリーが提供する人道的指導力養成、教育関連のプログラムへの青少年の参加を奨励していきたいと思うのです。

世界では、さまざまな形の青少年奉仕プロジェクトが行われています。ロータリークラブが提唱しているものには、ロータリーアクト、インターアクト、RYLA、青少年交換があり、ロータリアンが提唱しているものには、ボーイスカウト、ガールスカウト、運動競技チーム障害児童センター、学校の安全パトロール、夏期キャンプ、リクリエーション場、安全運転講習会、共進会、育児センター、子供病院などがあります。数多くのクラブが、職業相談を提供し、青少年雇用プログラムを設置したり、「四つのテスト」の活用を促進したりしています。薬物とアルコールの濫用防止やHIV/エイズの認識向上を支援するロータリアンも増えています。

ロータリアンは、あらゆる場面で、地域の青少年に模範を示す機会があります。人は、他の人々の行いを見て奉仕することを学びます。地域の青少年が、成人して指導者になった時、一人ひとりが将来の世代に奉仕するという、我々と同じ願望と精神を成就してくれることを願っています。

青少年奉仕月間



青少年奉仕について

国際ロータリー第2630地区
青少年奉仕委員会委員長

高橋 厚生 (高山中央RC)

今月(5月)は「青少年奉仕月間」です。青少年奉仕は、ロータリークラブにおける五大奉仕(クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕)の一つです。

青少年奉仕は、「より良き未来への投資」とも言われるように、ロータリーの発展に必要な奉仕であると位置付けられています。世界情勢の不安から人道奉仕が最優先に掲げられている現在においても、ロータリー本来の「教育的奉仕活動」の場である青少年奉仕活動を通じて、幼少期にロータリーの「名」を知ってもらえる有用な機会ととらえられています。近年は、出前講座を中心とした活動の情報提供を行い各クラブにて成果を上げていただいておりますが、それ以外にも、以前より各地域において様々な活動がなされており、各クラブの活動における一柱となっています。

では、ロータリーにおける青少年奉仕活動において重要な視点とは何でしょうか。私見となりますが、「ロータリアンが積極的に参加するかどうか」もっと言えば「ロータリアンがどれだけ動くか」ではないかと思えます。案外、子供たちは鋭い目で我々の活動を見ている。同じ活動でも「お金で支援する」活動か、「労力でも支援する」活動か、によって子供たちの見るロータリーには違いがあるように思えます。私としても最近の子供たちは賢く、どこか冷めた目で大人を見ているような気がしていましたが、実は大人が本気で積極的に関与してくれる事を求めているような気がします。実際は、我々の方が引いていたのではないかと感じるのです。

専門家に依頼し上手くスムーズな活動を子供たちに提供する。その方が効率もよく、子供達も楽しく

有意義に学べるという考え方は正解でしょう。しかし、そこには地域の大人たちとの触れ合い、地域の職業人との触れ合いが欠如しているのではないのでしょうか。

ロータリーにおける五大奉仕理念は、それぞれに入り混じってひとつの奉仕活動を形成しており、そしてその礎石は職業奉仕である。(地区委員長研修セミナーより)と記されています。

青少年活動を通じて、子供たちに学んでもらいたい事、伝えたい事は、その活動に参加する事で得られる「知識」「技能」だけではなく、地域とのつながりであり、我々職業人とのつながりであると思えます。

上手く勧められず笑いがでる活動も良いではないですか。上手な話術ではなくとも、一生懸命に伝えようとする話術も良いではないですか。親や親せきではない大人(職業人)と共に時間を過ごす事も大切な青少年奉仕活動であると思います。

出前講座でも、地域独自の活動でも、専門家を呼んでの活動でも、どのような活動でも結構ですので、その場に多くのロータリアン(職業人)が参加し、子供たちと積極的に触れ合うことにチャレンジしていただきたい。そのお手伝いができる青少年奉仕委員会でありたいと思っております。

今後も、青少年奉仕活動に、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



ガバナー補佐

桑員グループ ガバナー補佐
伊藤 嘉恭 (桑名中央RC)

「一年を振り返って」

ガバナー補佐候補として半年、そしてガバナー補佐として1年を終えようとしています。長短感じる1年でありました。他地区に比べ比較的クラブ数も少なく地域的にも狭いグループであり比較的、楽をさせて頂きました。

私にとって過分で責任の重い責務でしたがグループの会員様、各クラブの会長、幹事様には大変お世話になり1年が終えられることを大変感謝しております。

在籍中には多くのセミナー、会議に出席して多くの方々と知り合い親睦を深めました。1人の人間として又、ロータリーアンとして楽しみが増したような気持ちがございます。

当地区として感染症対策により3年間対面による活動が満足に出来ず、4年ぶりにIMを開催いたしました。篠原一行ガバナー、山本和彦地区代表幹事にご臨席賜り盛大に開催できました。感慨深い記録を残せたと思っております。

一色利之前AGより受け継ぎ、寺本豊次期AGに引継ぎがスムーズにできるよう残責を果たしてまいります。

篠原一行ガバナー、多くのパストガバナー、亀井喜久雄ガバナーエレクト、地区代表の方々のご健勝をお祈り申し上げます。



ガバナー補佐

四日市グループ ガバナー補佐
藤岡 傳 (四日市東RC)

「一年を振り返って」

苦しい道のりを覚悟し進み始めましたが、篠原ガバナーをはじめとする地区役員の方々並びに四日市グループ5クラブ会長・幹事をはじめとする会員諸兄のご指導とご協力により責務を果たせ、このうえない喜びであります。2022年7月の懇談会から始まりロータリーの原点、ロータリー活動の意義を学ぶ機会を頂き感謝申し上げます。

今年はIM インターシティミーティングを4年ぶりに開催することが出来たこと、そして各クラブ訪問をさせて頂き、各クラブの個性や特性を伺い知れたことがとても勉強になりました。これは私にとってこれからのロータリー活動の起点となると思っております。

また、5クラブ歴代ガバナー補佐会の開催を5月に、「女性会員のつどい」を初めて3月に開催させていただきました。これから5クラブのお互いの情報展開をしていけたらと考えます。

最後になりますが、残りの任期を一生懸命務めさせていただき、後任の矢野正剛ガバナー補佐予定者へスムーズに申し送りし、貴重な経験をさせて頂いたことに深く感謝申し上げます。



ガバナー補佐

鈴鹿・亀山グループ ガバナー補佐
平野 泰治 (鈴鹿ベイRC)

「一年を振り返って」

この4年余りは、新型コロナウイルス感染症の影響で、ロータリー活動も中止や延期を余儀なくされましたが、今年度は、ようやく収束し、それ以前のようなロータリー活動を再開することが出来るようになりました。しかしながら、その一方で、ロシアのウクライナ侵襲が始まり、世界の平和が脅かせる事態が起きてしまいました。

このような社会情勢が厳しさを増す中、平和を守り未来につなぐ、「アフターコロナのニューノーマルなロータリー活動はどうあるべきか」をテーマに、今年度の活動をしてきました。IMでは、原点に戻ろうと、鈴木一作先生には、「クラブ奉仕について」、松本祐二先生には、「ポリオ根絶について」のご講演をいただき、まずは、これまでのロータリー活動を、振ることが出来ました。

残念ながら、今年度も、新たな戦争、大地震と悲しい出来事が続きました。ロータリークラブの果たすべき社会奉仕の役割は、今まで以上に大きくなっています。

「未来へつなぐべき、奉仕の心とは何か」をしっかりと考え、世界の希望を生み出せるよう、鈴鹿・亀山グループのガバナー補佐として、次年度へバトンを渡せるよう、残された期間をしっかりと務めたいと考えています。



ガバナー補佐

中勢・伊賀グループ ガバナー補佐
辻原 宣和 (久居RC)

「一年を振り返って」

中勢・伊賀グループの8クラブの会長幹事を始めとするロータリー会員の皆さん、事務局の皆さん1年超にわたり大変ありがとうございました。

思い返せば就任前の数か月前からクラブ訪問スケジュールの調整、篠原ガバナー訪問の受け入れ準備、さらにはインターシティ・ミーティング企画・準備と、とても慌ただしかった事がよみがえってきます。

篠原ガバナーの活動目標に8クラブの活動が少しでも近づく様に情報の伝達、お願いにクラブにお邪魔しましたが、どちらのクラブでも暖かく受け入れて頂き協力して頂きました。おかげさまで会員数も3月現在グループ内で15名の会員が増え324名になりました。Myロータリーの登録率もグループ内の平均26.77%が35.75%に増加しました。ポリオ根絶活動もインターアクト年次大会の会場、更にはガバナー公式訪問の際は、屋外に飛び出し街行く人々に広報・募金活動を実施して頂きました。

今年度は、4月に障がい者との交流ポチャ大会をインターアクターと共に開催することが出来ました。至らぬ点の多い私を皆さん方に支えて頂きながら任期を務めることが出来、また貴重な経験もさせて頂きました。感謝、感謝の1年間でした。



ガバナー補佐

大阪・東紀州グループ ガバナー補佐
川原 直美 (熊野RC)

「一年を振り返って」

あっという間でしたが、多くのロータリアンとのたくさんの思い出を作ることのできた心に残る1年間でした。また、自クラブの皆様、篠原ガバナーや山本代表幹事をはじめとした地区チームの皆様、多くの方々に支えていただき無事過ごすことができましたと感じています。

ガバナー公式訪問ではガバナーカーのポリオラッピングに感動。そして自グループのIMではポリオのラッピングトラックのお披露目ことができました。今後5年以上ラッピング大型トラックが日本中を走りポリオ根絶を訴えます。米山卒業生とも再会できました。

他グループのIMでは、四日市、鈴鹿、久居、鳥羽に伺うことができました。地区大会も素晴らしい体験でした。また多くのロータリアンにお会いすることができてロータリークラブに所属していることの楽しさ、誇らしさを満喫しました。チャリティゴルフでは13年ぶりにクラブを持って楽しい一日でした。何度も伺ったAG訪問も思い起こせば、AGでなければできない体験ができました。本当に多くの皆様の笑顔が思い浮かべられます。

一年間お世話になりました皆様、心よりお礼申し上げます。ありがとうございます。3度目はないと思います。



ガバナー補佐

伊勢・鳥羽・志摩グループ ガバナー補佐
増田 肇 (鳥羽RC)

「一年を振り返って」

自クラブ(鳥羽)の創立60周年記念式典・祝賀会が終わって、AGとしての役目もほぼ4月の4回目のAG訪問と次年度の志摩RC塩本智幸AGへの引継ぎとっております。思えば一昨年の7月のAG初顔合わせから約1年8ヶ月余り長かったようで短かったようにも思います。昨年7月の1回目のAG訪問、そして8月には2クラブずつ3日間の公式訪問、その2日目には【篠原ガバナーを囲んでの懇親会】を総勢34名(会長幹事・パ・ストAG・地区出向者)で行うことができました。和気藹々でとても有意義な集まりでした。その後は他グループのIMにも3ヶ所程お邪魔をし、いろいろと勉強もさせていただきました。当グループのIMにも生かすことが出来ました。11月はガバナー杯の予選会、そして地区大会、いよいよ12月3日にはメイン行事のIM(テーマ:地域の活性化とロータリーの役割)も懇親会も含めて大成功裏に終わることが出来ました。この1年間を振り返って、いつも優しくアドバイス等いただいた篠原ガバナーはじめ地区役員、ガバナー事務所の皆様、そして伊勢・鳥羽・志摩グループの会長幹事をはじめ会員の皆様、何よりもいつも助けていただいた鳥羽ロータリークラブの皆様、心より感謝を申し上げます。



ガバナー補佐

岐阜Aグループ ガバナー補佐
石井 亮一 (岐阜RC)

「一年を振り返って」

一年間ご指導いただいた篠原ガバナーはじめ、地区役員の皆様、岐阜Aグループの会長幹事をはじめとする会員の皆様からのご支援とご協力のおかげで、2023-2024年の一年を無事に乗り越えることができそうです。心から感謝申し上げます。

2023年7月は、コロナも5類となり、すべての事業が2020年以前の形に戻り始めた頃でした。前年度までのガバナー補佐の皆様はIM開催方法もハイブリット方式、全面的ZOOM開催等悩まれたことと思います。今年度は開催方法を悩むことなく、従来と同様のお弁当を頂き、大いに会話を楽しむIMとなりました。IMの講師には、岐阜クラブの辻正会員にお願いし、「私の夢」と題してお話を聞くことができました。95歳のエネルギー溢れるお話に、参加者は元気を頂いた気がします。

さて、ガバナー補佐という重い役を背負いましたが、お蔭様でいろいろ学ぶところもありました。この一年間、ガバナー補佐として十分役目を果たしたかは大いに疑問が残ります。しかしながら、個人的には充実した一年を過ごすことができました。素晴らしい一年間の旅も終わりに近づいています。重ね重ねではありますが、会員の皆様には大変お世話になりました。本当にありがとうございました。



ガバナー補佐

岐阜Bグループ ガバナー補佐
岡部 賢明 (岐阜東南RC)

「一年を振り返って」

コロナに翻弄された3年間を取り戻す勢いで全ての行事が100%リアルで行われた篠原ガバナー年度に、ガバナー補佐として携わらせて頂き貴重な体験をさせて頂いたことに対し感謝いたします。ロータリー歴20年の集大成の1年と位置付け、色々勉強させていただきました。

私自身、地区とは全く縁遠く、「井の中の蛙大海を知らず」にあるように、クラブから一歩も出なかった私にとっては緊張の連続の1年半でした。この年度に何かを残そうという思いから、具体的なアクションとして「クラブ相互交流」を旗印とし「会員増強と退会防止」「クラブの活性化」になるようにと実施致しました。各クラブの会長・幹事(幹事会)はもとより、会員の皆様のご理解ご協力のより、ほぼ達成する事ができました事に感謝致します。

また、この交流が今後のクラブリーダー研修の一環として継承されることに期待しております。

年頭には早速ガバナー補佐同期会も催され、第2630地区が一望できる親しい友が増えた感があり、機会があれば是非クラブ訪問させて頂きたいと思っております。感謝。

反省点としては、岐阜Bグループガバナー補佐としての最大の仕事は、IM・ガバナー公式訪問でのアシストでしたが、懇親会が計画されず、クラブを超えた親睦交流ができなかったのではないかと深く反省しています。(2024-2025年度では計画済みとの事で、ご盛会をお祈りします。)

6クラブの皆様、一年間大変お世話になりました。ありがとうございます。



ガバナー補佐

岐阜西濃グループ ガバナー補佐
中村 一 (大垣中RC)

「一年を振り返って」

ガバナー補佐を拝命したときは、地区への出向も経験もなく大変不安でしたが色々な方に支えられ教えを頂き何とか無事終えられそうです。

西濃グループは9クラブあり、ガバナー補佐訪問も一か月近く回ることになります。どこのクラブに訪問しても、会長幹事さんをはじめ会員の皆様に歓迎され有意義で楽しい時間を過ごすことができました。

IMでは「今年度重点的に取り組む奉仕活動及び親睦の為の活動」に付いてそれぞれのクラブから発表して頂き、高橋直前ガバナーの講評を頂きました。

その後浦田パストガバナーにロータリーの歴史やポリオについて卓話を頂きました。大変有意義なお話でした。

ガバナー公式訪問は、篠原ガバナーがRI会長のテーマ「世界に希望を生み出そう」地区方針の「奉仕の心を未来へつなげよう」についての卓話でした。

IMとガバナー公式訪問もホームクラブの大垣中ロータリークラブの会長幹事やメンバーの協力により、無事終えることが出来ました。

本当に色々勉強になる一年でした。有難うございました。



ガバナー補佐

岐阜東濃グループ ガバナー補佐
丸山 充信 (中津川センターRC)

「一年を振り返って」

任期中の私のガバナー補佐としての心構えとして、一つ目にはグループ内から務められた篠原ガバナーに恥をかかせてはいけないと言うことです。最も大事なことは地区大会を何が何でも東濃グループで支え、成功させなければいけない。その為にはガバナー補佐として出来ることとして、グループ内各クラブの会員の地区大会の全員登録を求めました。おかげさまで各クラブのご理解によりほぼ達成でき、少なからず地区大会に貢献できたかと思っています。

二つ目には篠原ガバナーの基本方針「親睦・学び・成長・奉仕」を各クラブがいかに理解して取り組んでいくかを求めました。この方針は結果として例会を大切にクラブの活性化がはかれると言うことで有ります。各クラブへAG訪問させていただきましたが、グループ内のどのクラブも本当に一生懸命例会に取り組んでいることを改めて感じ、親睦についても十分に果たされていて各クラブとも十分に活性化されていることを認識しました。

そしてガバナー補佐として何をしたか、何が出来たかと言えば、私の30年に亘るロータリークラブライフの棚卸しが少しは出来たことであります。



ガバナー補佐

東海北陸道グループ ガバナー補佐
渡邊 剛 (郡上八幡RC)

「一年を振り返って」

2022年11月、名鉄グランドホテルで行われた次期ガバナー補佐研修会に始まって、早くも一年半になるようになっています。ほとんどの会議は名古屋で行われて、その都度、ほぼ一日の仕事として名古屋へ出掛けるのも大変なことと感じていましたが、回を重ねるごとに、多くの皆さんと顔見知りになり、皆さんがロータリークラブの為、地区の為に一所懸命に仕事をされていることが分かり、篠原ガバナーはじめ各委員長、委員の方はもっと大変なんだろうなと感じるようになりました。

私は、他のグループのガバナー補佐と会議や懇親会で交流させて頂く中で、皆さんが立派な方ばかりで、RCに真面目に、真剣に取り組んでみえる様子を感じました。

私のクラブ主催のIMも、実行委員会の力を得ながら、何とか皆さんに評価を頂いたIMを実行することができました。クラブ訪問もまだ半ばではありますが、その中身等は、ほぼ自分の予定通りのクラブ訪問になったかと思えます。

あと少しの任期ですが、精一杯の奉仕活動ができるよう頑張りたいと思っています。



ガバナー補佐

濃飛グループ ガバナー補佐
山田 彰 (美濃加茂RC)

「一年を振り返って」

最初に申し上げたい事は皆様への心からの感謝でございます。私は地区出向経験もないままに、第2630地区濃飛グループガバナー補佐としての役目を果たすべく駆け出しましたが、コロナ明けといわれる年度の地区行事は、元通りの活気を戻すまでの交流が可能であるのか、不安を抱きつつも役目を果たそうと致しました。また私は地区の各委員会事業への協力は基より、クラブ訪問とガバナー公式訪問そしてIMと、差し迫った事柄への対処をするだけで精一杯でありました。正直言いまして各クラブ会長と事務局様に頼りっきり、ただ勢いだけでガバナーを補佐して、濃飛グループ6クラブ調整役を終える事ができましたのは、常日頃より気にかけて下さいました会員の皆様のお陰と、心より感謝申し上げます。

篠原ガバナーにお会いし年度目標をお伺いした1年半前、各担当クラブに第2630地区からのお願い事項の擦り合せには、大変気を採りました。ガバナーを補佐し担当エリアのクラブを支えるという中に、篠原ガバナー自ら各クラブを回り対話をなされる姿を拝見し、擦り合せの重要性を教わりました。篠原ガバナーは私にとって素晴らしいガバナーであり、お仕えさせて頂いた事に改めて感謝を申し上げたいと思っております。

さて、私は改めて4つのテストの素晴らしさや、奥深さを実感致しました。ポールハリスが言われた「寛容の心」の大切さに感じ入る事が幾度となくあり、ガバナー補佐としても個人的にも、多くの経験をさせて頂いたこと、これがロータリアンの姿勢だ！と気づきました。

2024年6月末にて篠原ガバナーの年度は運営を終えます。私自身十分な補佐としての任務が出来たかどうか甚だ心もとなく、皆様に迷惑を沢山お掛けしたことをこの場を借りてお詫び申し上げます。

今後、私は一会員としてこの経験を活かしながら奉仕活動に励もうと考えております。皆様から頂戴した温かい御気持ちに感謝し、第2630地区の益々の隆盛と皆様の御健勝を心からお祈り申し上げます。



地区委員長

地区財務委員会 委員長
前田 吉彦（岐阜北RC）

「一年を振り返って」

財務委員会では、初年度に次期会計長・2年目に地区会計長・最終年度に財務委員長と役職を変えて任期の3年間を終えます。他の委員会に比べて目立った事業は有りませんが地区事務所との連携を取りつつ、粛々と財務関連の資料収集と地区会計諸規則に則した支払、証拠書類のファイリングを行う地味な業務に携わります。

特に業務量が多い地区会計長の業務は、主に予算案の作成、中間報告、決算業務を作成し財務委員会に提出します。

日常業務においては、各委員会や地区会議が開催される毎に提出される会場等の請求書とその参加者名簿が地区事務所から転送され、その資料を基に一人ずつ発着駅を確認して最適ルートを選択し金額を算定し支払いをします。財務委員会は業務の性質上年度を跨ぎ8月に決算報告を諮問委員会に報告して完了となります。今年も無事完了できそうですのでご協力をお願いいたします。



地区委員長

研修委員会 委員長
岩田 勝美（羽島RC）

「一年を振り返って」

2019～2020辻ガバナー年度から始まった地区研修委員会が本格的に活動を開始したのは2022～2023高橋ガバナー年度でした。昨年7月には元RI研修リーダー服部陽子PGに講師をお願いして「ロータリーのラーニングの重要性」のテーマで講演の後、討論会形式のセミナーを行いました。

篠原ガバナーはクラブ研修リーダーの活躍によって各クラブが強化され、地区全体が向上し、奉仕の実践により魅力あるクラブを創って行こう。会員増強の「強」はクラブ研修リーダーの双肩に掛かっている。クラブ内研修によってロータリーを深く知る事で退会防止に繋げて欲しいと、クラブ内研修の必要性を説かれました。

1月に行った第2回目のセミナーは、伊勢中央RC会員、安藤塾社長・安藤大作氏の講演後、「WCSを国内の青少年に」をテーマにディスカッションを行いました。クラブ研修リーダーは様々な知見を広め、その知見を持ってクラブ内研修を進めて頂きたいと思えます。



地区委員長

職業奉仕委員会 委員長
管内 章夫（久居RC）

「一年を振り返って」

職業奉仕を出来るだけわかりやすく、優しく理解いただくように努めてきました。また、今年度は、クラブの職業奉仕の理解をより一層深めていただくために、職業奉仕月間の卓話をクラブの職業奉仕委員長にお願いをしましたところ、地区職業奉仕委員会からの出向卓話はほとんどありませんでした。クラブ内での職業奉仕への理解がより一層深まったように思います。

また、職業奉仕委員会研修セミナーは、2023年11月5日（日）に、参加者121名で開催しました。基調講演は、株式会社塩荘取締役会長の刀根荘兵衛様（敦賀ロータリークラブ所属、国際ロータリー第2650地区パストガバナー）に『職業奉仕の現状と未来』という演題で、ご講演をいただきました。「ロータリーの職業奉仕博士」と呼ばれるにふさわしい内容で、特に国際ロータリーの職業奉仕と日本の職業奉仕のとらえ方の違いがよくわかり、職業奉仕をより深く理解することができました。

委員会内では、コミュニケーションツールLINE WORKSを導入して、委員同士のコミュニケーションや資料の共有を進め、親交を深めることができました。



地区委員長

公共イメージ委員会 委員長
近藤 浩史（岐阜東南RC）

「一年を振り返って」

委員長になって3年目のこの1年は委員会運営にも余裕ができ、今まで課題でした地区のホームページの情報の区分けを行うことができました。今までのホームページは様々な情報が混在していましたが、「公共イメージの向上」という大きな目的のため、「一般向けの情報」と「ロータリアン向けの情報」に分け、一般向け情報ページを公共イメージ委員会にて管理・運営することができました。

また、もう一つの柱となる「地区のクラブに取材訪問をし、訪問レポートを地区のホームページに掲載する」という活動は、4月末までに、瑞浪RC、高山中央RC、下呂RC、上野RC、不破RCの5つのクラブに取材訪問ができました。取材に対応していただきました各クラブの会長・幹事をはじめ皆様に感謝申し上げます。そして、その取材レポートを地区のホームページに掲載しましたが、多くの方から高い評価をいただき委員会一同喜んでいました。

多くのロータリアンが自ら情報発信することで、ロータリー活動を多くの一般の人に知っていただくことができます。そのことがロータリーの「公共イメージの向上」につながります。今後も公共イメージ委員会活動へのご理解・ご協力を宜しくお願いいたします。



地区委員長

会員増強委員会 委員長
亀井 和彦 (可児RC)

「一年を振り返って」

2023-24年度は、2024年2月末の会員増強報告書時点の第2630地区会員数は3138名です。その内女性会員は207名で女性会員割合6.6%となります。

昨年2023年6月末の会員増強報告書時点の第2630地区会員数は3007名で、その内女性会員が184名で女性会員割合6.1%でした。この8ヶ月で会員数が131名増え、その内女性会員が23名増えました。女性会員割合も0.5%増で、着々と目標の「地区73クラブ純増1名以上、女性会員割合8%」に近づいています。

これは第2630地区の各クラブが会長と会員増強委員長が中心となり、未来の理想的なクラブの“カタチ”を模索し、計画立てて会員の増強に努めているからだと思えます。

ただ会員数を増やすだけではなく、奉仕活動で育まれた会員相互のフェロウシップこそが未来のロータリーを築いていくと考えます。この「ロータリー魂」の継承を未来へ繋いで行きましょう。今後ともよろしく願いいたします。



地区委員長

D・E・I 推進小委員会 委員長
野原 佳子 (岐阜淡墨RC)

「一年を振り返って」

「DEI」という言葉も皆様には少しずつ覚えて頂けるようになりましたでしょうか。「DEI」は多様性、公平性、包括性という意味を持ち単語だけ拾うと日本語では理解しにくい言葉です。

誰をも認め、排除しない、個々の年齢、性別、職業、バックグラウンド様々な事を認め表面的な事で判断しない。クラブがより良い方向に向かう為にお互いの思いを、考えを共有することが出来る。皆様にどうお伝えするか、とても難しいと思っていました。ですが「DEI」心の問題です。ロータリーは以前から実践していました。改めてロータリアンの根底にあるものを思い出し、大切にして頂ければおのずと理解していただけるのではないかと思います。

12/2(土)、岐阜グランドホテルにて「2023年 DEI推進セミナー」を開催させて頂きました。「DEI」という言葉の中で多様な考え方、各クラブでのご意見を多数いただき感謝しております。

至らぬところも多々ありましたがご理解とご協力頂きまして、感謝しております。一年間ありがとうございました。



地区委員長

新クラブ推進小委員会 委員長
高井 文洋 (美濃加茂RC)

「一年を振り返って」

新クラブ推進小委員会は、以前は衛星クラブ推進小委員会として発足し、今年度から名前を新クラブ推進小委員会となりました。読んで字の如く、新しいクラブ創設を推進する委員会です。しかし、従来型のクラブ創設ではなく、新しいタイプのクラブです。委員会では、例会はネット上で行うEクラブと、色々なクラブに積極的にメイキャップを推奨し、従来型クラブへの移籍も可能なパスポートクラブを兼ね備えた新しいタイプのクラブ創設を考えました。『2630Eテラスロータリークラブ』です。現段階ではプレオープン段階です。毎週水曜日PM19時から始め従来のような卓話を中心とした例会だけでなく、『一つのテーマでフリートーク』をしていただく例会も開催しております。年配の方の意見や若者の意見を聞けて本当に楽しく例会を開いております。是非メイキャップにお越しください。

最後になりますが、多くの方々に多大なご協力を頂き心より感謝申し上げます。次年度もよろしく願いします。



地区委員長

奉仕プロジェクト部門 委員長
勝川 生年 (美濃加茂RC)

「一年を振り返って」

奉仕プロジェクト部門委員会は昨年に引き続き、社会奉仕委員会、国際奉仕委員会の活動を補助し、両委員会の情報を共有する役割を担っております。委員会の合同開催は有効的な選択として今後も継続したいと考えます。委員会の構成は任期も含め新陳代謝が進んでいます。これまでの活動の継承に重点を忘れず新たな方向性の提案に期待が膨らみます。

本年度より導入された奉仕プロジェクト(旧WCS)補助金はより利便性の高い役割と変化し初年度として4件の申請を頂き、支給に至っております。今後もより多くの活用を期待致します。

国際奉仕プロジェクトとしては第3350地区、第3330地区より共同参画の要請を頂きました。本年度は第3330地区からの要請に応える活動を完了しました。残念ですが第3350地区からの要請には支援に至らず、今後の課題として更なる補助金の在り方、申請の精度を習い直す必要を感じています。

奉仕プロジェクト活動の目的は、支援を受ける国、地域、団体と親交を深めることを真の目的としてきました。そのプロセスに支援金、支援物資がより感動をもたらし、有効で不可欠な事は現実です。これからも支援活動は継続致します。私たちは支援の始まりと友情の継続を大切に真の目的としてクラブの活動を補助できる存在を目指します。

今後も奉仕プロジェクト部門委員会に御理解と御支援を宜しくお願い申し上げます。



地区委員長

社会奉仕委員会 委員長
石田 公司 (美濃加茂RC)

「一年を振り返って」

皆様のクラブでも7月からの新年度を控え、計画を立てていることと思います。

日本ではコロナウイルスの脅威が一服し、平穏な日々が戻りつつあります。しかしコロナ禍により経済が停滞したところに円安による物価の上昇が重なり、一方で株価の高騰等によって貧富の差がますます顕著になりました。日本の相対的貧困率はOECD36か国の中でも非常に悪くなっています。さらに今年1月には能登半島の震災が襲いました。

世界ではウクライナロシア紛争が続くなかイスラエルガザ地区の争議が起きました。このような状況下で、ロータリーの奉仕のニーズは増えていることは明らかです。

今こそ、新しい奉仕プロジェクトについて考えてください。資金が足りない場合は、地区補助金や奉仕プロジェクト補助金を活用することも検討してください。社会奉仕委員会では、皆様の奉仕プロジェクト創生をサポートします。

本年もお世話になりました。ありがとうございました。



地区委員長

国際奉仕委員会 委員長
太田 正隆 (松阪山桜RC)

「一年を振り返って」

1年目の昨年度は、何も分からぬままに終わってしまった感が否めませんでした。

今年度は、奉仕部門の大先輩の篠原ガバナーのご指導を得、いろいろな事業の提案を受けて、又多くのクラブからの協賛の賛同を得て、事業の実現に向けて頑張っていました。

言葉の壁、習慣の違いを強く感じましたが、何とか第2630地区の6クラブの協力により、タイ王国の、がんの健診に関する早期発見の補助という形で事業が完了する事が出来ました。タイ王国の役員の皆さんや、賛同を戴いたクラブの情熱、委員の皆さんの強い気持ちによって成就出来ました。

近年のGG事業が、タイ王国に偏ってきてはいますが、信頼のおける相手国を選択する事は簡単にできる事ではなく、お金を渡せばよいわけではなく、その後の持続性や、より発展した事業に結びついてゆく事も大切な事でもあり、やっと一つのルートが開発されたという事でも有るのではないかと感じる一年でもありました。



地区委員長

青少年奉仕委員会 委員長
高橋 厚生 (高山中央RC)

「一年を振り返って」

今年度は、長かったコロナが5類となり、様々な活動が再始動する年でした。

本委員会での各委員からの活動報告についてもそれぞれのクラブにて活動が再開し様々な報告がなされました。また、我々ロータリークラブの活動再開と共に教育現場においても少しずつコロナ前の日常に戻ってきている事を実感しました。

しかし、コロナによる活動自粛期間は、我々、大人よりも、多感な時期を自粛せざるを得なかった子供たちの生活に大きく影響していることを実感します。青少年奉仕委員会としては、子供たちの日常を、また、自粛期間の経験を少しでも取り戻す事への助力となるために何が出来るのかを自問する一年となりました。

最後になりますが、委員の皆様をはじめ、ご協力頂きましたすべての皆様に、あっという間の一年ではございましたが、感謝申し上げます。ありがとうございました。



地区委員長

ローターアクト委員会 委員長
青山 正生 (本巣RC)

「一年を振り返って」

月日が流れるのは早いもので、2023-2024年度も残すところわずかとなりました。4期務めさせていただきました委員長を退任することとなりました。

この4年間の内3年間はコロナ過で活動が出来ない状況が続きました。現在は以前の状況に戻りつつあります。そんな中で、各クラブが会員増強に苦慮していましたが、残念ではありますが活動の中心的な2クラブが今期末を以って終結することになりました。非常に残念ではありますが、各クラブの状況を踏まえたとやむを得ないことかと思えます。残りの4クラブが一丸となって活動を続けていただくことを願うばかりです。

このような状況で退任することは心残りではありますが、次期委員長にバトンを渡したいと思えます。この4年間、ローターアクトを支えてくださいましたガバナーを始めスポンサークラブの皆様には感謝申し上げます。

活動を継続されるローターアクトクラブのスポンサークラブの皆様には引き続きご支援ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。



地区委員長

青少年交換委員会 委員長
河人 宗寿 (多治見リバーサイドRC)

「一年を振り返って」

今年度はガバナー輩出クラブの地区幹事・事務局長を受け、「一つも二つも三つも一緒や!!」、と交換委員長も受け、米山カウンセラーも引き受けましたが、宇宙をはるかに超える想像以上に、ガバナー事務所・委員長の兼務は大変でした(汗)。

自分のことはさておいて、今派遣中の学生は楽しく留学生活を送っており、また受入学生も今のところ問題もなく元気に過ごしているので、安心してるところです。毎月の委員会、オリエンテーション、研修旅行の引率等休む暇もありませんが、なんとか学生たちの夢のお手伝いとして、委員会メンバーが一丸となってがんばっています。

これから又、新しい派遣候補生を選考し、受入学生の準備に、各国の交換委員長達と交流をして、終わることのない委員長の仕事が続きます。一年間の経験を更に次年度に向け、力を倍にしてやって行きたいと思います。



地区委員長

インターアクト委員会 委員長
今津 美憲 (岐阜サンリバーRC)

「一年を振り返って」

IACの活動に“学校や地元地域でボランティア活動をする”があります。コロナ禍が5類となり活動の制限は少しゆるやいできた様子です。その活動の姿は各グループ協議会の発表で感じる事が出来ました。スポンサーRCも積極的にサポートをしていただき共同の活動が出来たことに学生も勉強になった事と思います。

“国際親善と楽しみながら世界中に友達を作る”活動として、韓国第3600地区と交換学生派遣事業が4年ぶりに再開できました。

韓国学生のホームスティとインターアクト年次大会を開催していただきました、伊賀白鳳高校・上野高校と上野RCに心より感謝いたします。篠原ガバナーや韓国学生をはじめ500人程が伊賀國に一堂に集うことが出来た年次大会に大いなる意義を感じています。

未来を担うインターアクターの為に、ご指導やご声援をいただきましたロータリアンの皆様へ心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



地区委員長

ロータリー財団部門・学友委員会 委員長
堀部 哲夫 (関RC)

「一年を振り返って」

本年度は、私にとりましてロータリー財団部門委員長3年目の最終年度となりました。振り返れば、財団部門には補助金小委員会委員4年、小委員長3年、部門委員長3年、都合10年お世話になりました。その間、多くのロータリーメンバー、地区役員皆様方には多大なお世話になりました。改めて、感謝とお詫びを申し上げます。

ロータリー財団では大きなお金が動きます。それ故に、きちとしたルールの基で運営する必要が有ります。時には厳しい意見を言わざるを得ないことも有り、メンバーの中には嫌な思いをされた方も多々在ったかと思えます。

第2630地区のロータリー財団の活動は、地区補助金事業、グローバル補助金事業、奨学生の派遣、災害救援補助金事業等、すべてにおいて他地区に劣らず活発に行われています。これからも、さらに幅広く活動されていくことと思えます。

「財団は難しい」と言うご意見が有りますが、決して難しくありません。一度、きちんと学んでいただければ何方でも簡単にご利用できます。益々、ロータリー財団部門の活動が盛んになることを祈念申し上げます。



地区委員長

資金推進小委員会 委員長
加瀬 久照 (津RC)

「一年を振り返って」

資金推進小委員会はロータリー財団へのご理解と寄付の増進を推進し、篠原ガバナーの方針のとおり、主に年次基金寄付 EREY150ドル以上とポリオプラス基金寄付30ドル以上、恒久基金寄付をクラブ全体で1,000ドル以上を目標に寄付の増進にご協力をお願いしてまいりました、地区内ロータリアン、各クラブのみなさまには、大変お世話になりました、感謝申し上げます。

会長対象に「PETS」、クラブ財団委員長対象に「地区研修協議会・財団セミナー・補助金管理セミナー」を開催させていただき、ロータリー財団へのご理解のために詳しく説明を行い委員会としての活動を精一杯させていただきました。

「やさしいロータリー財団」を目指して邁進いたしました、皆様のご指導ご協力を頂き1年を終えることが出来ました、感謝申し上げます。

次年度は部門委員長に就任させて頂く事となりました次年度も本年度と変わらぬご指導ご協力をお願い申し上げます。

R財団への寄付は、未来への投資とお考えいただき、さらなるご支援をお願い申し上げます、お礼といたします、ありがとうございました。



地区委員長

ポリオ・プラス小委員会 委員長
国安院 章良 (四日市南RC)

「一年を振り返って」

私は、ポリオプラス小委員会委員長拝命以前より5年間ポリオプラス小委員会に配属されておりましたので、この一年を加えともう6年間ポリオプラスに携わっております。そういう意味ではやるべきことは理解しておりましたが、委員長の役割は責任も重く、重圧もありました。

篠原ガバナーにおかれましてはこの一年ポリオカーを使用され、様々な機会にポリオ根絶のためのポリオプラスプログラムを強力に指導・推進して頂きました。また、堀部財団部門委員長には、具体的に手を取ってご指導くださり、また、ポリオ募金の際には、自ら先頭立ってご参加頂きました。おかげさまで、地区会員のみなさんにこのプログラムについて、より理解を深めて頂くことができたと思います。

そして、その結果として、様々な機会に募金して頂くことや、自ら募金活動を実施していただくことができたと思います。

一年を振り返って、あらためてご協力頂きました地区会員のみなさまに心より感謝申し上げます。根絶まであと少しです。



地区委員長

資金管理小委員会 委員長
澤田 哲郎 (多治見リバーサイドRC)

「一年を振り返って」

ロータリー財団部門 資金管理小委員会委員長の3年任期が無事終了しましたことに対し、各クラブの皆様には感謝の意を表します。

第2630地区の各クラブの皆様、ロータリー財団の補助金(地区補助金、グローバル補助金等)を公平かつ適正に使用していただくために、毎年クラブの参加資格認定:「MOU」の覚書を第2630地区と73クラブ間で交わしていただきました。「MOU」の覚書には毎回会長エレクト様と会長ノミニ様のご署名をいただきました。毎年のごことはいえ大変ご苦勞様でした。提出期限についても11月30日までにと決まっておりましたが、各クラブの皆様のご協力により、一部のクラブでは12月の総会後にはなりましたが毎回全クラブと「MOU」の覚書が締結できましたことに深く感謝申し上げます。

また、ロータリーカード推進委員を3年間務めさせていただきました。ポリオ根絶に向けた資金確保のため「オリコ・カード(個人およびビジネス)」と「ダイナース・ロータリークラブカード」の推進をさせていただきました。

ロータリー財団の最大の奉仕活動でありますポリオ根絶では、すでに30億人の子供たちに経口ポリオワクチンの投与がなされております。これらのカードで2万円使用していただくとポリオワクチン1人分が確保できます。そこで各クラブに「ダイナース・ロータリークラブカード」の導入を積極的にお願いしてまいりました。浦田、高橋、篠原ガバナー様のご尽力により、ゼロからのスタートでしたが令和6年3月末で73クラブ中27クラブが導入いただきました。多くのクラブにご加入いただき感謝感謝です。今後全クラブがダイナースのクラブカードを取得いただきますようお願いいたします。

最後になりましたが、第2630地区の各クラブの皆様には大変お世話になりました。第2630地区がさらなる発展されることをお祈りしております。



地区委員長

補助金小委員会 委員長
本弘 路可 (津RC)

「一年を振り返って」

本年度のロータリー財団地区補助金事業は、25クラブから奉仕プロジェクトの申請を採択し、新型コロナ禍も収まりましたので、無事完了する予定です。

また、グローバル補助金事業も2件、当地区と中津川RCによるタイの第3360地区への飲料水の濾過プロジェクトと当地区国際奉仕委員会による当地区内6クラブと他地区協働のタイ第3330地区への結腸癌予防支援プロジェクトが承認され、実行されております。

委員会活動は、今年度から対面での活動ができるようになり、委員会全体としての活発な意見交換が再開できました。

次年度の当委員会の構成は、委員長は、前ポリオプラス小委員会委員長であった河地氏に変わり、2～3年目の委員が中心となりますので、より充実した活動ができると期待しております。

今後のロータリー財団委員会活動へのご支援、ご協力をよろしく願います。



地区委員長

R平和フェロシップ小委員会 委員長
道家 嗣典 (岐阜加納RC)

「一年を振り返って」

任期を終えるにあたり、ご挨拶申し上げます。

この一年、ロータリー平和フェロシップ委員会での任務を果たす中で、多くの素晴らしい経験を積むことができました。世界中のロータリアンと共に平和を実現し国際的な理解と協力を促進するための取り組みに携わることは光栄なことであり、とても貴重な経験でした。それには皆様のご協力とご支援がなければならず、それをなくして任務は成し遂げられなかったことと心から感謝しております。

また、多種多様なバックグラウンドや視点を持つ委員会のメンバーと共に仕事をさせていただいたことは、常に刺激的でありとても情熱にあふれるものでした。

今後、ロータリーの理念に基づいて平和と協力の推進に努め、この魅力ある素晴らしい組織に関わり続けたいと思っています。

最後になりますが、お支えいただいた皆様には深く感謝申し上げます。重ね重ねではありますが、一年間、本当にありがとうございました。



地区委員長

米山記念奨学委員会 委員長
長谷川 隆志 (岐阜東RC)

「一年を振り返って」

篠原ガバナー年度での委員長一年目をまもなく終えますが、あっという間の一年でした。それまでは、直前委員長の背中を見ながら運営方法を学んだつもりでしたが、実際やってみると、色々な点でミスをしたり、忘れてしまったりと、委員会には大変ご迷惑をおかけいたしました。委員さん達にはそのフォローをしていただき無事に事業をこなせたことにとても感謝いたしております。

さて、米山の事業といたしまして学友会の世界大会が国内であり、それに参加したことにより、第2630地区としての活動が他地区と比較して、ほとんどできていない事がわかり、学友会小委員会と学友会活動をもっと積極的に行っていくことの確認や、主の米山記念事業について誤解されているクラブもあるため、お世話クラブを引き受けていただけるよう丁寧に説明する必要性を感じました。



地区委員長

米山学友会小委員会 委員長
笠原 幸治 (岐阜長良川RC)

「一年を振り返って」

米山学友会が母国と日本の懸け橋として、社会貢献できる組織に成長することを夢見て活動してきました。今年奨学生と話をして衝撃だったのは、日本に憧れ、日本で学び、日本で働きたいが、雇い入れてくれる企業が岐阜や三重では少ないということです。その為、第2630地区を離れてしまい、学友会活動になかなか参加できないのが現状です。まだ日本に在住しているならいいのですが、母国に帰ってしまうと全く活動に参加できません。学友会活動を活性化していくには、就職先のことも考えないといけないことが分かりました。奨学生にはもっと積極的にクラブのメンバーに話しかけ、メンバーの仕事にも関心を持ってもらうよう話しかけていきたい。是非、優秀な奨学生を地区に留め、地区の経済までも活性化していけたらと考えています。学友会小委員会は始まったばかりです。研修会を通じて過去の学友メンバーとの繋がりを復活させ、地区の魅力を発信できる学友会としていきます。

活動事業報告

鳥羽ロータリークラブ第60周年記念式典

鳥羽 RC 会長 中村 正人



鳥羽ロータリークラブは、令和6年3月17日(日)鳥羽国際ホテルにおいて創立60周年記念式典を開催しました。篠原一行ガバナーをはじめ、亀井喜久雄ガバナーエレクト、各2630地区のロータリアンの皆様、そして三重県副知事服部浩様、鳥羽市長中村欣一郎様をはじめ来賓の方々をお招きし、盛大に執り行うことができました。

式典では記念事業として杉原新一60周年実行委員長より、2月17日(土)に開催した「水の惑星70%」ココリコ田中と学ぼう in 鳥羽水族館の説明をさせていただきました。未来の子どもたちへ海を守るという大切さを体験して学ぶプログラムを、第1部は鳥羽水族館研究員の若林氏より海洋プラスチック問題をテーマに学び、第2部では海の生物の生態系などについてココリコ田中氏とトークショーという形さまざまな角度から学ぶことができましたと思います。子どもたちにとって身近な海を守っていくために何が必要なのかということをもっと理解する場となったと思います。

祝賀会では、姉妹クラブである台湾の花蓮ロータリークラブの会員・家族の皆様、そして友好クラブである美濃加茂ロータリークラブの会員の皆様もお招きして盛大に開催させて頂くことが出来ました。最後の「手に手つないで」を全員で声高らかに熱唱出来たことは、コロナ禍が収束しての実感でした。

参加して頂いた皆様、そして今まで準備から開催までご尽力頂いた会員・家族の皆様にご心から感謝申し上げます。



第34回交換学生スキーの集い報告

青少年交換委員長 河人 宗寿（多治見リバーサイド RC）



今年も RID2600 白馬ロータリークラブ主催の「交換学生スキーの集い」に、当地区から INBOUND4 名、派遣候補生 3 名、ROTEX1 名を引き連れて行って参りました。

今回の参加地区は他に、RID2560, 2570, 2590, 2630, 2660, 2760, 2770、計 8 地区。INBOUND の国籍は、ドイツ、台湾、エクアドル、フランス、アメリカ、フィンランド、ベルギー、スイス、イタリア、スウェーデン、オーストラリア、スペイン、スロバキア、ハンガリー、カナダ、ブラジルと韓国からの米山奨学生を含めて 17 カ国。参加人数は、INBOUND+ 派遣候補生+ROTEX+ 白馬高校 IAC メンバー合わせて 101 名。参加各地区ロータリアン+ゲスト+関係者等を含めて延べ 80 名。合計約 180 名の参加で開催されました。

会員数 12 名の白馬ロータリークラブの一大行事。毎年開催、本当に頭の下がる思いです。一日目はあいにくの雨の中でのスキー・スノーボード教室でしたが、何よりも普段関わることのない他地区の仲間たちとの交流が学生たちには一番の思い出となりました。今後の設営、運営状況もだんだんと厳しくなりますが、ぜひ引き続き開催してほしいと願うばかりです。



国際ロータリー第2630地区 会員数報告

2024年3月分

グループ	クラブ	例会数	会員数					
			期首	うち女性	月末	うち女性	増	減
桑名	桑名	3	34	0	37	0	5	2
	桑名西	3	28	1	30	1	2	0
	桑名中央	3	28	3	27	3	1	2
	桑名北	3	29	5	28	5	0	1
	グループ計(4)		119	9	122	9	8	5
四日市	四日市	3	82	2	87	2	14	9
	四日市北	3	20	4	20	4	0	0
	四日市西	4	74	4	76	5	3	1
	四日市南	3	30	4	30	4	1	1
	四日市東	3	31	0	32	0	3	2
	グループ計(5)		237	14	245	15	21	13
鈴鹿・亀山	鈴鹿	4	69	10	74	10	7	2
	鈴鹿西	3	28	7	29	6	2	1
	鈴鹿ベイ	4	12	0	11	0	0	1
	亀山	4	10	0	10	0	1	0
	鈴鹿シティ	3	58	2	71	4	13	0
グループ計(5)		177	19	196	20	23	4	
中勢・伊賀	津	3	63	1	64	1	6	5
	上野	4	34	2	38	5	4	0
	名張	4	36	1	39	3	5	2
	津南	3	43	2	41	2	3	5
	津北	4	49	4	52	4	4	1
	上野東	4	37	2	36	2	0	1
	久居	4	28	3	29	4	2	1
	名張中央	3	19	2	20	2	1	0
	グループ計(8)		309	17	319	23	25	15
松阪・東紀州	松阪	3	73	0	74	0	2	1
	松阪東	4	70	14	74	14	4	0
	熊野	3	35	5	37	5	4	2
	尾鷲	3	11	2	11	2	1	1
	松阪山桜	3	38	3	39	4	2	1
	グループ計(5)		227	24	235	25	13	5
伊勢・鳥羽・志摩	伊勢	2	50	0	50	0	2	2
	鳥羽	3	30	3	31	3	1	0
	伊勢南	4	41	5	38	4	0	4
	志摩	3	42	12	40	11	0	2
	伊勢中央	4	44	0	48	0	6	2
	伊勢度会	4	16	4	16	4	0	0
	グループ計(6)		223	24	222	22	9	10
三重県合計(33)		1,292	107	1,339	114	99	52	









■2023年3月(前年度) 会員数報告

	期首	うち女性	月末	うち女性	増	減
三重県合計(33)	1,283	101	1,328	108	89	44
岐阜県合計(40)	1,711	75	1,747	81	101	65
地区合計(73)	2,994	176	3,075	189	190	109




グループ	クラブ	例会数	会員数					
			期首	うち女性	月末	うち女性	増	減
岐阜A	岐阜	4	75	2	80	2	10	5
	岐阜西	3	41	0	40	0	0	1
	岐阜長良川	4	40	0	42	0	3	1
	岐阜北	3	36	4	33	4	1	4
	岐阜中	2	26	1	24	1	0	2
	グループ計(5)		218	7	219	7	14	13
岐阜B	岐阜南	4	83	9	84	10	4	3
	岐阜東	3	40	2	42	2	4	2
	岐阜東南	4	35	0	34	2	3	4
	岐阜加納	5	87	0	86	2	5	6
	岐阜エトス	4	17	2	17	2	1	1
	岐阜城	3	18	0	20	0	2	0
グループ計(6)		280	13	283	18	19	16	
岐阜西濃	大垣	3	85	2	91	3	6	0
	大垣西	4	79	0	84	0	6	1
	本巣	3	27	1	26	1	0	1
	羽島	4	35	2	34	2	1	2
	不破	3	26	0	25	0	0	1
	大垣中	3	61	3	59	3	1	3
	大垣センチュリー	3	49	4	53	4	5	1
	岐阜淡墨	3	16	1	17	1	1	0
	岐阜サンリバー	3	17	4	17	4	0	0
	グループ計(9)		395	17	406	18	20	9
岐阜東濃	多治見	3	53	4	59	4	7	1
	中津川	3	69	3	70	4	4	3
	瑞浪	4	61	1	62	1	4	3
	恵那	3	46	3	50	4	4	0
	土岐	3	36	2	38	2	3	1
	多治見西	3	30	3	37	3	7	0
	中津川センター	3	57	2	59	2	4	2
	多治見リバーサイド	4	51	1	61	4	10	0
グループ計(8)		403	19	436	24	43	10	
東海北陸道	美濃	3	18	0	19	0	1	0
	各務原	2	29	1	35	4	7	1
	関	3	45	2	44	2	1	2
	郡上八幡	4	36	2	36	2	2	2
	関中央	3	27	0	28	0	1	0
	郡上長良川	3	32	5	33	5	1	0
	グループ計(6)		187	10	195	13	13	5
濃飛	高山	4	34	0	36	0	2	0
	下呂	3	26	1	32	3	6	0
	高山西	4	36	2	36	2	1	1
	美濃加茂	4	41	4	41	5	2	2
	可児	3	40	1	40	1	0	0
	高山中央	3	54	3	54	3	2	2
グループ計(6)		231	11	239	14	13	5	
岐阜県合計(40)		1,714	77	1,778	94	122	58	
地区合計(73)		3,006	184	3,117	208	221	110	

2024年3月分

入会会員





四日市西 RC  伊藤 久美 2024. 3. 1 入会 生花仲卸	津 RC  渡部 圭 2024. 3. 6 入会 新聞発行	津南 RC  平松 洋一郎 2024. 3. 5 入会 鉄工業、福祉事業	伊勢中央 RC  西澤 誓 2024. 3. 15 入会 建築板金	大垣西 RC  川本 裕明 2024. 3. 5 入会 合成樹脂加工	大垣西 RC  竹中 康英 2024. 3. 5 入会 化学工業薬品販売	大垣西 RC  田中 博之 2024. 3. 5 入会 シャッター製造業	大垣西 RC  田中 尚一郎 2024. 3. 5 入会 印刷
--	--	---	--	---	--	---	--

入会会員

大垣センチュリー RC  清水 貴士 2024. 3. 11 入会 労務斡旋業	多治見 RC  伊藤 眞一郎 2024. 3. 13 入会 陶土釉薬製造	多治見西 RC  守谷 泰一 2024. 3. 14 入会 教育
--	---	---

逝去会員

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

岐阜北 RC  小島 正三 1984. 7. 1 入会 2023.12.20 逝去 米山功労者 ボール・ハリス・ フェロー	岐阜加納 RC  村瀬 洋介 1993. 1. 8 入会 2023.12.20 逝去 2008-09 年度会長 2018-19 年度 地区大会実行委員長 米山功労者マルチプル マルチプル・ボール ハリス・フェロー	大垣中 RC  北村 欣一郎 1993. 9.16 入会 2023.12.20 逝去 1999-00 年度会長 1992-93 年度幹事 ベネファクター 米山功労者マルチプル ボール・ハリス・ フェロー	各務原 RC  藤井 孝一 1984. 6. 6 入会 2024. 3. 20 逝去 2003-04 年度会長
---	---	--	---

「ガバナー月信だより」



今年度も「ガバナー月信」を読んでいただきありがとうございました。内容は、決まり通りのメッセージや活動報告ではありましたが、今回気合いを入れた一つに「表紙」があります。多治見市のPRはもちろんのこと、誰でも使いそうな観光名所の写真ではなく、毎回現地に撮影に出掛け、すべてオリジナルの写真を使用しました。「永保寺での結婚式」ではじまり、「うなぎの蒲焼」のアップには度肝を抜かれ、ご飯が何杯も食べれる「月信」が出来上がりました。多治見ならではの「灼熱地獄」での写真撮影。ドローンによる撮影。「うながっば」の出演。今年度はなんとといっても、米山奨学生をモデルに表紙を飾れたことが、今までにない画期的な「月信」を生むことになりました。これだけこだわって、一生懸命作っても多分殆どの会員は読んでないと思います(T_T)。自己満足の「月信」ではありましたが、一番喜んでくれているのが篠原ガバナーです。ガバナーの期待に添えた「月信」を一年間発行することができて良かったです(*^_^*)。

ガバナー事務所だより



(ガバナー事務所 事務局長 河人 宗寿)

会長エレクト研修セミナー（PETS）報告

2023-2024 年度 ガバナーエレクト 亀井 喜久雄

2024 年度会長エレクト研修セミナー（PETS）が 3 月 24 日（日）名鉄グランドホテルで開催されました。

第 1 セッションでは、私、亀井から、地区活動方針の話をいたしました。第 2 から第 4 セッションでは、クラブの活性化等に関し、パストガバナー等の皆様に講師を務めていただきました。第 5・6 セッションでは、各次期地区委員長等の皆様から所属委員会の話を頂戴しました。

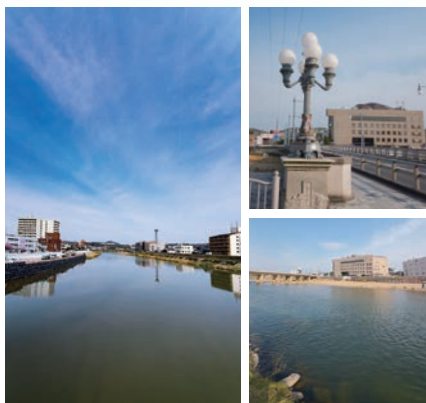
第 7 セッションでは、次期ガバナー補佐と会長エレクトとの懇談会を、閉会セッションでは、地区大会の PR、そして修了証書の会長エレクト代表への授与等がありました。

セミナー終了後の懇親会では、交流、親睦を図ることができました。大変有意義なセミナーとなりました。次年度に向けて私たち第 2630 地区の地区運営を、皆様と共に精一杯務めさせていただきます。今後ともご支援ご協力お願いいたします。



「土岐川リバーサイド」

ガバナー月信 表紙説明



多治見市の中心部を流れる一級河川。水源は、恵那市の夕立山。瑞浪、土岐、虎渓山の麓を蛇行し、多治見の市街地を北東から南西に流れ、愛知県春日井市から「庄内川」となり伊勢湾に注ぐ。土岐川の南側を旧土岐郡多治見村、北側を旧可児郡豊岡村と呼ばれ、その後町となり昭和 9 年多治見町が豊岡町を編入、昭和 15 年 8 月 1 日、市制施行して多治見市が誕生しました。戦後、地場産業の陶磁器産業が盛んな時期は、粘土等の排水で白く濁り、その当時は経済成長の証として、受け入れていましたが、今は昔の話。魚や鳥たちが戯れるきれいな清流になりました。

「多治見リバーサイド R C」の名前の由来も、土岐川を中心として発展してきた多治見市にあやかり、平成 4 年のクラブ創立準備当時の親クラブ・多治見西 R C の古庄五生分区代理らの発案で命名されました。ちなみに、東には「東京リバーサイド R C」、西には「大阪リバーサイド R C」があり、「リバーサイド」つながりで交流をしています。

2023-2024 年度 地区事務所・ガバナー事務所・地区大会事務所 案内

地区事務所	〒500-8212 岐阜県岐阜市日野南 3-5-16 TEL 058-248-9724 FAX 058-248-9725 E-mail : branch@rid2630.org	執務時間 9:30-17:30 (土・日・祝日 休務)
ガバナー事務所 地区大会事務所	〒507-0036 岐阜県多治見市田代町 3-21-1 TEL 0572-56-2630 FAX 0572-56-2631 E-mail : 2324@rid2630.org (ガバナー事務所) E-mail : 2324taikai@rid2630.org (地区大会事務所)	執務時間 10:00-16:00 (土・日・祝日 休務)